

関西大学幼稚園

2023 年度学校評価報告書



2024 年 3 月

目 次

2023 年度 関西大学幼稚園 学校評価（自己点検・評価）分析

1	本園の概要	1
2	今年度の教育活動状況	1
3	評価の実施にあたって	1
4	評価の分析	4
5	学校関係者評価委員会からの評価結果	30
6	「学校評価（自己点検・評価）報告書」に対する園長の意見書	33
7	アンケート結果	34

1 本園の概要

関西大学幼稚園は、教育基本法を十分に尊重し、すべての園児が各自の人間性や能力を全面的に開花させていくことを目的として1951年に開設され、創立72年目を迎えている。

本園は、「自主性の陶冶」、「協同性の涵養」、「生きる力の育成」の3本の柱を教育の基本方針とし、様々な環境や境遇に育った子どもたちが、幼稚園の新しい環境と集団生活に適応できるように教育活動を実践している。「いきいきと自己表現ができ、積極的にいろいろなことに取り組むことのできる子どもにすること」、「みんなで協同して仕事をしたり、遊んだりすることのできる子どもにすること」、「困難に出会った時、前向きに解決していける豊かな感性と生活の知恵をもつ子どもにすること」を子どもの育ちのなかで見逃すことなく働きかけながら、子どもが子どもらしい感性を発揮し、心豊かに人間らしく育つことを、時代を越えて守っていかなければならないと考えている。

また、本園は自然環境に恵まれ、園舎前面に運動場があり、園庭には楠、桜、いちょう、せんだん、くぬぎ、かえで、つつじ、つばき、きんもくせいのほか、裏山は松、かし等の樹木に囲まれている。また、ざくろ、みかん、柿、ジューンベリー、ブルーベリー等の実のなる木や草花の存在は、子どもたちに四季折々の自然を身近に感じさせる楽しみとなっており、情操教育の一助となっている。

このような環境の中で、教育学や心理学及びその他の諸科学の進歩に即しながら、子どもたちの感覚を豊かにすることに重点を置きつつ、認識、情操、能力、健全な心と体の発達を図るための保育を開設以来積み重ねている。

一方、本園を運営する学校法人関西大学は、「Kandai Vision 150」に基づき、その実現のために、中期行動計画を策定し実施している。本園においても、この枠組みの中で基本方針と中期行動計画の連関を意識しながら教育活動を実践している。

2 今年度の教育活動状況

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変わった5月8日以降、コロナ禍前の保育に戻していった。行事や取組は、コロナ禍での経験を生かし、クラス単位や学年単位で行い、年齢に合わせて実施できるようにした。

併設校の利点を生かした大学との連携に関しては、関西大学国際部と連携し、保育時間中に外国人留学生を招き、園児と交流を深める取組を11月より再開し、実施した。関西大学文化会の学生による演奏を鑑賞する「楽しいつどい」も再開し、1月に邦楽部、2月に交響楽団に来ていただき実施することができた。関西大学大学院心理学研究科の「心理アセスメント演習2」の一環として本園で実施する短期実習も実施することができた。

3 評価の実施にあたって

本園の自己点検・評価（学校評価）は、2020年度から、関西大学幼稚園教育課程におけ

る内容と幼稚園教育要領の5領域との関連に焦点をあて、本来は3年かけて一巡する計画であったが、コロナ禍で実施できなかった教育内容もあり5年に延長し、一巡する評価方法とする。今年度は4年目である。

幼児教育は、何より保護者（家庭）との連携が重要であることから、保護者と直接関わる「クラス懇談会」において、本園の教育内容と幼稚園教育要領の5領域との関連を伝え、5領域を保育に組み込んでいることを理解していただけたかを点検・評価する取組にした。5領域の内容については、事前に保護者に手紙で周知し、理解を深めていただけるようにした。

本園では下表のように評価活動の年次計画をまとめている。

2023 年度 クラス懇談会での学校評価の内容

月	年少組	年中組	年長組
6 月	入園式について	健康診断について	進級式について 5 月の節句について
7 月		七夕について	夏の夜のつどいについて
9 月	お月見について	園外保育について	
10 月	運動月間について		
11 月	園外保育（親子）について 冬至に向けての取り組みについて		お餅つきについて
1 月		豆まきについて	
2 月	ひな祭りについて		お店屋さんの取り組みについて
3 月		お別れ会について	

*クラス懇談会終了後に、アンケートをとるようにし、悩みや質問については次回のクラス懇談会での話題にしたり、個別に対応している。

2023 年度の本園における主な自己点検・評価活動は以下の通りである。

日付	議題	内容
5 月 2 日（火）	今年度の学校評価について	
5 月 8 日（月）	今年度の保護者・教員アンケートについて	・アンケート項目の作成
5 月 15 日（月） 5 月 16 日（火）	年少組クラス懇談会にてアンケート実施	・今年度の学校評価アンケート集計

5月17日(水)		
6月20日(火)	年中組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
6月21日(水)	実施	
6月22日(木)	年長組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
6月23日(金)	実施	
6月26日(月)	年少組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
6月27日(火)	実施	
6月28日(水)		
7月10日(月)	年中組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
7月12日(水)	実施	
7月13日(木)	年長組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
7月14日(金)	実施	
9月13日(水)	年少組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
9月14日(木)	実施	
9月15日(金)		
9月19日(火)	年中組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
9月21日(木)	実施	
9月26日(火)	年長組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
9月27日(水)	実施	
10月12日(木)	年少組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
10月13日(金)	実施	
10月16日(月)		
11月15日(水)	年長組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
11月16日(木)	実施	
11月17日(金)	年少組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
	実施	
1月29日(月)	年中組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
1月30日(火)	実施	
2月14日(水)	年少組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
2月15日(木)	実施	
2月16日(金)		
2月21日(水)	年長組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
2月22日(木)	実施	
2月28日(水)	教員用アンケート実施・集計	
3月4日(月)	年中組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計

3月5日（火）	実施	ト集計
3月14日（木）	学校関係者評価委員会開催	

本園の学校評価活動の特徴として、2010年度から保護者にも協力を仰ぎ、保護者と教員との間で本園の教育についての意識が共有できているかを検証している。今年度もクラス懇談会終了後に保護者アンケートを実施した。回収率は100%であった。

4 評価の分析

（1）年少組6月クラス懇談会

入園式について

【現状の説明】

入園式は、以前は年少組全クラスで行っていたが、コロナ禍の経験より初めての環境で過ごす新入園児が安心して過ごせるように、クラスごとに親子で行っている。担任とクラスの子どもたちと保護者が顔を合わせ、これからの園生活が楽しみにできるようにと考えている。入園式については、以下の幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を意識して取り組んでいる。

- 「健康」 ・先生や友だちと触れ合い、安心感をもって行動する。
- 「人間関係」 ・社会生活における望ましい習慣や態度を身につける。
・先生や友だちと共に過ごすことの喜びを味わう。
- 「言葉」 ・先生や友だちの言葉や話に興味や関心を持ち、親しみを持って聞いたり、話したりする。
・親しみを持って日常のあいさつをする。
・いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。
・絵本や物語などに親しみ興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう。
- 「生活」 ・生活の中で美しいものや心動かす出来事に触れ、イメージ絵お豊かにする。

入園式では、初めての環境、初めて会う先生や友だち等、新入園児が不安な気持ちになることや保護者も我が子が初めて集団生活をする事への不安や心配な気持ちが生まれると想像するので、親子で安心して過ごせることを大切にしている。（人間関係）

入園式はホールで行っている。初めて新入園児と関わるひとときを大事にしたいと考え、担任が一人ひとりに名札をつけている。（健康）ホールでは親子で椅子に座れるようにし、椅子はクラスの子どもの顔が見えるように円形に設定している。式での話は、子どもたちに語りかけるように話すことで、あたたかい雰囲気になるようにと考えている。（言葉）担任からはお祝いの気持ちを込めてテーブル人形劇『ちょうちょのきょうだい』を行い、年長児からは手作りのうさぎのペンダントを新入園児に贈っている。（言葉、表現）式は短い時間

ではあるが、親子で明日からの園生活を楽しみな気持ちになるように心がけている。

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると『『入園式』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。』の設問に対して、「思った」との回答が97%であった。また、『『入園式』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。』の設問に対しては、「各クラスずつの小規模で入園式をしたことで温かい雰囲気の中、お友達の顔もそれぞれ見れて良かった。年長児からのペンダントの贈り物もお互いが恥ずかしながらも嬉しそうにしている様子が微笑ましかった」「子どもにとって最適で、気持ちを尊重してくださっていると感じ、あたたかな気持ちになりました」「お姉ちゃん、お兄ちゃんからもらったうさぎのペンダントをととても大切にしています。」などの記述回答があり、コロナ禍の経験から子どものことを考え、クラスごとに行ったことを感じていただけたことがわかった。今後も園生活の始まりを親子が安心して過ごせるように考える。また、入園式は親子の関わりを知れる機会であるため、本アンケート結果を今後の働きかけに生かせるようにする。

（2）年中6月クラス懇談会

健康診断について

【現状の説明】

園で行う健康診断で病気が見つかるということがほとんどないという現状から、病気を見つけるという「検診」ではなく、園児の健康を確認する「健診」を行っている。健康診断では、健康な身体作りの話をし、自分の身体に関心を持てるようにしている。健康診断については、以下の幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を意識して取り組んでいる。

「健康」

- ・先生や友だちと触れ合い、安定感をもって行動する。
- ・自分の健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。

「人間関係」

- ・自分で考え、行動する。
- ・自分でできることは自分でする。
- ・友だちと楽しく生活する中できまりの大切さに気付き、守ろうとする。

「環境」

- ・季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。

「言葉」

- ・先生や友だちの言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。

・したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。

年少児は初めての健康診断を安心して受けられるよう保護者同伴の受診とし、年中・年長児は教員の指示に従って子どもだけで受診させることにしている。今年度は4月に内科と歯科の医師に来園してもらい、身長・体重の測定、問診、内科・歯科の診察、尿検査、視力・聴力検査（年中・年長児のみ。年少児は6月中に各クラスで行う。）を実施した。

好き嫌いをせずに食べると体が丈夫になっていくこと、野菜を食べると病気になりにくい体を作れることなど食事に関する話や、十分な睡眠をとることで食事からの栄養が体の中に届いていくこと、よく遊んで体を動かすことで元気な体になっていくことを各学年の子どもたちに分かりやすいように伝えている。（健康・人間関係）登園後、食事前、外遊びから戻ってきた時に石鹸での手洗い・うがいを普段から習慣として行なっている。自分の身体を健康に保つために手洗い・うがいをするを子ども自身が知れるよう健康診断で改めて話をしている。（健康・人間関係）歯磨きは、園では昼食後に毎日行っていることである。子ども自身が“磨き残しが無くなるように磨く”ことや“奥の歯、前の歯、と自分の歯を意識して磨く”ことを出来るように働きかけている。（健康・人間関係）子どもたちに伝えるにあたって、教員から話をするが内容によっては絵本や紙芝居を用いて伝えている。絵から話をイメージすることでより受け入れ易く、子どもが関心をもって健康について考える機会になると考えている。（健康・人間関係・言葉）“健康診断”として日を設けてはいるが、1年間を通して子どもたちには自分の体について、また健康について生活の中から意識できるようにしたいと思っている。子どもたちが季節の移り変わりを感じ、夏には水分を積極的に取るよう意識したり、冬が近づき寒くなっていることが分かれば防寒着を着て体を温める大切さに気付いたり、その時々で必要なことを子どもたちと一緒に考えていきたいと思っている。（人間関係・環境）

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると、『健康診断』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。」という設問に対して「思った」との回答が97.6%、「まあまあ思った」の回答が2.4%であり、100%に近い保護者に理解していただけたことがわかる。また『健康診断』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」の設問に対しては、「園で日頃からお話を下さっているからか、家でも『これ食べたらどうなる？』と聞くことがあります。日々健康のことを本人が少しでも気にして大きくなれるので、とても良いなと思います。」「普段の生活の中から健康の大切さを先生方が子どもたちに伝えて下さっているのはとてもありがたいです。食事から体が作られていること、歯を大切にしなければならないということは、わが子にも伝わっているようです。」「受け身で今の健康を確認するだけでなく、どうすれば元気に過ごすことが出

来るか教えて頂いていることを知り、ありがたいと思います。少しずつでも自分のことは自分で出来るようになり、自信にもつながると思います。」等の記述があり、本園が大切にしていることを理解していただけたことがわかる。今後もクラス懇談会を通じて、保育の理解を深めてもらえるよう努めていく。

（３）年長組 6 月クラス懇談会

進級式について

【現状の説明】

新入園児を迎える前に年中・年長児となる子どもたちの進級を喜び、お祝いする日として、最初の登園日に進級式を行っている。進級式については、以下のような幼稚園教育要領の 5 領域のねらいと内容との関連を意識して取り組んでいる。

- | | |
|--------|---|
| 「健康」 | ・先生や友達と触れ合い、安定感を持って行動する。
・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 |
| 「人間関係」 | ・身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感をもつ。
・先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。
・社会生活における望ましい習慣や態度を身につける。 |
| 「言葉」 | ・先生や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみを持って聞いたり、話したりする。
・絵本や物語などに親しみ興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう。 |
| 「表現」 | ・様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。 |

保育室で新しい担任が子どもたち一人ひとりに名札を付け、新しいクラスの子どもたちと朝の挨拶をし、共に過ごす友だちと顔を合わせてから進級式を行う。（健康・人間関係・言葉）進級式は、ホールに年中・年長児が集まり、園児は園長の話を聞き、歌を歌い、一つ大きくなった喜びを感じられるようにしている。保育室に戻ってからは、担任が進級を祝う気持ちを込めてテーブル人形劇「ちょうちょのきょうだい」を行っている。（健康・人間関係・言葉・表現）

また、年長児には翌日は入園式があり新入園児を迎えることを知らせ、手作りのペンダントを渡す年長児として初めての仕事を行うことを伝えることで、憧れの年長児になったことを感じられるよう働きかけている。年中児は保育室も変わり、集団も大きくなるので、翌日からの園生活を不安な気持ちにならず安心して過ごせるように働きかけている。（健康・人間関係・言葉）

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると『進級式』に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いませんか。」という設問に対して「思った」との回答が 93.5%であり、「まあ

まあ思った」が4.3%、無回答が2.2%であった。「まあまあ思った」との回答理由が記載されていないため、要因はつかめていない。また『進級式』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」という設問に対しては、「一つ学年が上がった喜びをお友だちや先生方と共有し、分かち合う時間を作っていたことが大変嬉しいことだと感じた。」「あたたかい気持ちにつつまれて進級式が行われていることを知り、とても嬉しく思った。」「新しい環境になり、落ち着かない中、進級の日を穏やかに過ごせているところが素敵だと思った。」「『ちょうちょのきょうだい』を毎年見せていただくことで、年齢に応じた感じ方をしている。」等の記述があった。これらのアンケートから今後も進級式が子どもたちの成長の節目となるだけでなく、1つ大きくなった喜びを共に味わい、穏やかに迎えられる一日になるように努めていく。また、家庭でも子どもたちの嬉しい気持ちに共感したり、話に耳を傾ける機会が持てるように働きかける。

5月の節句について

【現状の説明】

本園では5月の節句にむけて、こいのぼりや兜、花菖蒲などを飾り、金太郎の歌をうたったり素話をしたりしている。また、節句についてそれぞれの学年に合わせて伝え、日本に古くから伝わる風習に興味を持てるようにしている。5月の節句については、以下のような幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を意識して取り組んでいる。

- | | |
|--------|---|
| 「健康」 | ・ 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 |
| 「人間関係」 | ・ いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ
・ 友達のよさに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。
・ 友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。 |
| 「環境」 | ・ 日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ |
| 「言葉」 | ・ 先生や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり話したりする。
・ いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。
・ 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう。 |
| 「表現」 | ・ 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。
・ かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。 |

5月の「端午の節句」は“子どもたちが元気で健やかに育ってほしい”という願いが込められていることを園児にわかりやすく伝えている。

端午の節句が近づくと保育室に花菖蒲を飾り、子どもたちが興味を持てるようにしてい

る。葉の先が刀のようにとがっていることから、悪いものから身を守ってくれるとされていることや“菖蒲湯”（お風呂に菖蒲の葉を浮かべ入ると邪気を払い健康でいられる）の話もする。また、金太郎の歌を歌い、力が強い男の子がその力を使い動物たちを助け、やがて大人になり人の役に立つ侍へと成長していくという話を素話で聞かせている。（健康・環境・言葉・表現）

年少・年中組は担任が作った兜を元気で大きくなりますようにという願いを込めて部屋に飾る。年長組は折り紙で兜を制作し、その後更に大きな画用紙で自分が被れる兜を友だちと2人組で協力して作る。兜を作る際、友だちと一緒に協力しながら作るという作業を通して気持ちを合わせながら作り上げることを大切にしている。子どもたちは折りあがった兜を被って見せ合ったり、年中児に見せに行ったりする姿もある。（健康・人間関係・環境・表現）年中児ははさみとりのりを使い、自分のこいのぼりを制作する。年長児になると幼稚園の大きなこいのぼりを制作し、うろこの布を切る、染める、縫うなどの経験をしながらクラスの子どもたちと一つのこいのぼりを作り上げていく。（健康・人間関係・表現）このような「端午の節句」の取組を通して、子どもたち一人ひとりが大事にされている大切な存在であるということを感じて欲しいと思っている。

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると「『5月の節句』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。」という設問に対して「思った」との回答が100%であった。また、「『5月の節句』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」という設問に対し、「こいのぼり制作をしていると子どもから話を聞いていましたが、詳しい話が聞けてその時の様子がよく分かりました。」「花菖蒲の話を家でもよくしていて、私自身がよく知らない花だったので子どもから教えられました。」「大人から守られ大事にされていることが伝わるよう取り組んでいることがわかり、保護者として安心しました。」「家に飾ってあるこいのぼりや五月人形にもとても興味を持っていろいろな話をしてくれます。幼稚園でもそんな話をしているのかと思いを馳せました。」「節句の話を聞いて、友だちと協力しながら年齢に合わせた取り組みをしているところがいいなと思いました。難しいことにも楽しく挑戦しているなと思いました。」「季節の移り変わりや古くから伝わる行事の由来などは子どもから教わることも多く、日々の生活に根差した行事を丁寧に子どもたちの心に残るように働きかけてもらえていることを有難く感じています。」などの記述があった。これらのアンケートから本園が大切にしていることを理解していただけたことがわかった。今後も3年間の積み重ねを大切に、日本に昔から伝わる行事を理解していける機会になるように努めていく。また、引き続き家庭でも季節の変化や行事の由来に興味や関心を持ってもらえるように働きかけていく。

(4) 年中組 7 月 クラス懇談会

七夕について

【現状の説明】

日本に昔から伝わる季節の行事、七夕の由来を各学年の子どもにわかりやすく伝え、笹飾りや短冊の制作を通して七夕を知り、また夜空の星に興味をもつ機会になるようにと考えている。七夕については、以下の幼稚園教育要領の 5 領域のねらいと内容との関連を意識して取り組んでいる。

- | | |
|--------|---|
| 「健康」 | ・ 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
・ 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 |
| 「人間関係」 | ・ 自分でできることは自分です。
・ 友達のよさに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。
・ 友達と楽しく活動する中で共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。
・ 友達とのかかわりを深め、思いやりをもつ。 |
| 「環境」 | ・ 季節により自然や人間生活の生活に変化のあることに気付く。 |
| 「言葉」 | ・ 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。
・ 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう。 |
| 「表現」 | ・ かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。 |

七夕は日本に昔から伝わる季節の行事で、「7 月 7 日の夜、天の川にかかるかささぎの橋を渡って織姫、彦星の二つの星が会おう」という中国から伝わった星まつりである。本園では、七夕の由来を各学年の子どもたちにわかりやすく伝え、歌を歌ったり、絵本を読んだり、笹飾りや短冊の制作に取り組み、七夕や夜空の星に興味を持てるようにしている。(健康・人間関係・環境) 年少組の制作は三角つなぎと四角つなぎ星形の画用紙に顔を描き織姫と彦星を作る。年中組では輪つなぎ、スイカ、貝殻を作り、画用紙にある星形の線の上をハサミで切り、星を作る。そして、自分の願い事を絵で描いた短冊を飾る。また、出来た笹飾りに自分でこよりを結ぶ経験を積み重ねている。年長組では更に、おうぎ、天の川、きゅうり、なすを作る。どの学年でも一つひとつの飾りには意味があることを伝え、制作を通し七夕を知り、願いを込めながら作れるように働きかけている。のりやハサミの使い方だけでなく、線の上を切るなどを意識させ、出来た喜びや満足感を味わい、意欲的に取り組めるようにしている。また、出来上がった作品はその都度持ち帰り、家庭でも窓辺に飾り、夜空を眺めながら家族で話をするきっかけになればと考えている。(健康・人間関係・表現)

本園では、大学構内の竹林から切り出してもらった大きな笹(竹)を年長児がクラス全員で幼稚園まで運んでいる。年少・年中児には、その年長児の姿を見せることで憧れの気持ちが育つと

考えている。(健康・人間関係)翌日には、運んだ笹に子どもたちが作った笹飾りと短冊を結び、7月7日はホールに立てた飾りのついた大きな笹の下で七夕の集いを行っている。笹を下から見上げて色々な七夕飾りを見たり、七夕の歌を歌ったり、人形劇部の保護者の「たなばた」の人形劇を見たり、年齢に合わせた七夕の集いを行っている。(健康・人間関係・言葉)

今回のクラス懇談会では、保護者に笹飾りの“貝殻”の体験をしてもらうことで制作時の子どもの気持ちを想像したり、園での取り組みを理解してもらえるようにした。

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると「『七夕』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。」という設問に対し、「思った」との回答が100%であった。また、「『七夕』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し、「日本の伝統行事について教えてくださり、親子で楽しむきっかけになっています」「七夕について子どもに伝える時に私では大雑把な話しかできないですが、幼稚園で丁寧に伝えてもらって子どももとても興味を持っている様子でした」「七夕のお話を聞いてきた日には家でも内容を教えてくれ、飾りを作った日には家でも同じものを作り、一生懸命先生の話聞いて色々なことを吸収してきたんだなと感じていました」「こよりを結ぶという普段の生活でも行うことを、七夕で経験したことで、家でもヒモを結ぼうとすることがありました」「笹飾りやうたなど、何か『やること』ばかりに目が向いていましたが、お話を伺って、単純に夜空を見上げて星を見る、そこに思いを馳せることの尊さを思い出しました」という記述回答があった。これらのアンケートから本園が大切にしていることを理解していただけたことがわかった。今後も3年間の積み重ねを大切に、家庭でも七夕に限らず日本に昔から伝わる行事に関心を持ってもらえるような働きかけをしていきたいと考える。

(5) 年長組7月クラス懇談会

夏の夜のつどいについて

【現状の説明】

夏の夜のつどいは、年長組のみの取組で、幼稚園で過ごす夏の夜のひとときを友だちと一緒に楽しめるように考えている。本園では以下のような幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を意識して取り組んでいる。

- | | |
|--------|---|
| 「健康」 | ・先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。
・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
・先生や友達と食べることを楽しむ。 |
| 「人間関係」 | ・先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。
・友達と積極的にかかわりながら喜びや悲しみを共感し合う。 |
| 「環境」 | ・自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。 |

- ・季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。
- 「言葉」
- ・先生や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。
 - ・いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。
 - ・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう
- 「表現」
- ・生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。
 - ・音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。

一学期の終業式を終え降園した後、17時に再度登園し20時30分まで行っている。日が暮れていく園で、友だちと一緒に過ごす。教員による人形劇「たべられたやまんば」や関西大学の学生によるジャグリングを見たあと、夕食を食べ、その後、火を囲んでファイヤーストームを行っている。火の話を聞き、歌を歌い、ゲームや踊りを楽しみ、最後に噴き上げ花火を見た後、暗い中明るく照らしてくれた火に感謝しながら、静かに火を消しファイヤーストームを終える。その後、クラスごとに夜の園内を散歩し、夜間の小鳥やうさぎ、かもの様子などいつもと違う夜の園の様子を知る。(健康・人間関係・環境・言葉・表現)

当日は普段とは違う特別な取組に、子どもたちの気持ちが高ぶることで、落ち着きのなさが行動に現れたりすることを予想し、怪我や事故につながらないように配慮し取り組んでいる。(健康・人間関係・言葉・表現)

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると、『『夏の夜のつどい』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。』の設問に対して、「思った」が97.9%、「まあまあ思った」が2.1%であり、100%に近い保護者に理解していただけたことがわかる。また、『『夏の夜のつどい』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですでお書きください。』の設問に対しては、「特別にどこかへ行くということではなく、普段過ごしている幼稚園で夜にみんなで過ごすというだけで、十分特別な時間を過ごすことができると思うのでとても良いと感じました。」「年長さんだけの特別感がとても良いなと思います。」「普段と違った時間帯の中で特別な経験をゆっくりとした時間の中で過ごせそうでいろいろ考えてくださっているのがわかりました。」「火を見ながら火の話を聞いたり火に感謝したり、なかなか家では行えないいい経験ができると思います。印象に残ったことを家でも話してくれるのを楽しみにしています。」等の記述があった。これらのアンケートから「夏の夜のつどい」について理解していただけたことがわかった。今後もクラス懇談会で取り組みのねらいを伝え、理解を深めてもらえるよう努めていく。

（６）年少組 ９月クラス懇談会

お月見について

【現状の説明】

十五夜は中秋の名月とも呼ばれ、米や野菜等の農作物が収穫できたことに感謝し、豊作を願い、ススキやお団子等のお供え物をしてお月見をしてきたという由来を園児に伝え、月に興味をもつ機会になるようにと考えている。お月見については、以下のような幼稚園教育要領の５領域のねらいと内容の関連を意識して取り組んでいる。

- | | |
|--------|--|
| 「健康」 | ・ 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
・ 先生や友達と食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心をもつ。 |
| 「人間関係」 | ・ 先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。
・ 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。 |
| 「環境」 | ・ 自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。
・ 生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ。
・ 季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。
・ 自然などの身近な事象に関心をもち、取り入れて遊ぶ。 |
| 「言葉」 | ・ 先生や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。
・ したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。
・ いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。
・ 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう。 |
| 「表現」 | ・ 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。
・ 様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。
・ かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。 |

お月見は旧暦の８月 15 日にあたり、「十五夜」や「中秋の名月」と呼ばれている。お団子や収穫された里芋や梨・ぶどう・りんごなどの果物をお供えし、稲穂に見立てたススキを飾り、お米や作物が収穫できたことを月に感謝をする日本の伝統行事である。このような習わしを子どもの年齢に合わせて理解できるように話し、月の満ち欠けについて知ることが出来るように話をしている。また、月に関する絵本や歌、手遊びを楽しみ、園児が月を身近に感じ興味を持てるようにしている。（健康・人間関係・言葉・表現）

本園では、四季の移り変わりや自然を生活の中から園児が感じられるように働きかけることを大切に考えている。園内の散策を通して裏山や園庭にあるススキを見たり、保育室に

ススキや秋の花（ピンポン菊・われもこう・リンドウ）を飾り季節を感じられるようにしている。また、行事をイベントと捉えるのではなく、季節を感じると共に日本の文化として子どもが知っていくことも大切にしている。（健康・環境）

十五夜当日には、年長児と教員で作ったお月見団子をいただいている。年少・年中児は、年長児がお団子にきな粉をかけたり、コップにお茶を入れたり、お盆に載せてお団子を運んだり給仕する姿を見て、年長児への憧れの気持ちを育むことを大切にしている。年少・年中児はお団子をいただいた後、粘土でお団子を作り保育室に飾りお月見に興味を持つことができるようにしている。（健康・言葉・表現）

今回のクラス懇談では、保護者にお月見の由来や取り組み、子どもへの働きかけを話した。

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると「『お月見』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。」の設問に対して、「思った」が97.5%、「まあまあ思った」が2.5%であり、100%に近い保護者に理解いただいていることが分かる。また、「『お月見』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」の設問に対しては、「家でもお月さまのうたを歌っています。十五夜の日、家でもお月見をしてみたいと思います。」「無理なく自然に体験して行事の意味を覚えていってくれることがとても良いことだなと感じています。家でもお月見の団子を作ったり、お話をしたりとできることを考えたいと思いました。」「季節の花や収穫に興味を持ち、感謝の気持ちを持つことができていいなと思いました。今は歌をたくさん歌ってくれて、先生と楽しくお月見を心待ちにしているのだなと思いました。」「自分自身、小さい頃にお月見団子を作ってお月見をし、楽しかったことを思い出しました。家ではなかなか四季の行事をしたことがなかったので、幼稚園の友だちと一緒に経験することでより楽しい思い出になるのではないかと期待しています。」などの記述回答があり、クラス懇談会の働きかけやえんだよりや学年便りを通して、お月見への取組に対する理解を深めることが出来た。

今後も日本に昔から伝わる行事を理解していける機会になるように努めていく。また、家庭でも自然や季節の変化に興味や関心を持ってもらえるように働きかけることに努めていく。

（7）年中9月クラス懇談会

園外保育について

【現状の説明】

本園の園外保育は、春、秋と同じ場所に出かけている。同じ場所を訪れることで園児が安心して楽しめることと、季節の変化を感じることを大切にしている。毎年同じ場所に出掛けるが、自然や安全面の状態を把握するため教員は必ず下見に行き、その年の子どもたちに合

わせた活動内容や時間配分を考えた計画を立てるようにしている。園外保育については、以下の幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を意識して取り組んでいる。

- 「健康」
 - ・先生や友だちと触れ合い、安定感をもって行動する。
 - ・いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。
 - ・進んで戸外で遊ぶ。
 - ・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
- 「人間関係」
 - ・先生や友だちと共に過ごすことの喜びを味わう。
 - ・友だちと積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う。
- 「環境」
 - ・自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。
 - ・季節により自然や人間の生活に変化があることに気付く。
 - ・自然など身近な事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ。
- 「言葉」
 - ・いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。
 - ・先生や友だちの言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。
 - ・したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。
- 「表現」
 - ・生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。
 - ・生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。

年中組は千里南公園に出かける。春は新しいクラスに慣れていないため、散策をし、おやつを食べて午前中で園に戻るが、秋はクラスに慣れ子ども同士の関わりも深まってくるため、十分遊べるよう弁当を持って出かける。年長組は万博記念公園に出かける。体力がつきしっかりと足取りで歩くことが出来るため、春も秋も弁当を持っていき自然の中で十分な時間を過ごせるようにしている。

園児が楽しみな気持ちを友だちと共有し、主体的に活動できることが大切だと考えているため、出かける前日にクラスで園外保育についての話をする時間を作っている。話をする中で持ち物について自分で考えたり、公園への行き帰りに乗る電車でのマナーを確認するなど、教員から一方的に伝えるのではなく子どもから出た声を共有し繋げていくことを大切にしている。(健康・人間関係・言葉) 春は新緑の美しさや木陰の心地よさ、秋には紅葉の美しさや太陽の暖かさを感じながら、季節によって咲く花を見つけたり、落ちている木の実を拾ったりできるように働きかけている。身近な自然物から目に留まったものを何かに見立てたり工夫して遊ぶことで、子どもたちの想像力や創造力が引き出されると考えている。また、広場で走ったり、集団遊びやわらべ歌遊びなど身体を動かして遊ぶ心地よさを味わうことも大事にしている。(健康・環境・表現)

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると、『園外保育』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。」の設問に対して、「思った」の回答が97.8%、「まあまあ思った」の回答が2.2%であり、100%に近い保護者に理解していただけたことがわかる。

また『園外保育』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですでお書きください。」の設問に対しては、「同じ場所へ出かける、というのが安心して遊べると聞いて、なるほどと思いました。5月とは違う公園の様子も、同じ場所だからこそ気付けるのかもと思います。自然のあるところで遊ばせてもらえるのは有難いです。」「同じ場所へ行くことは安心感があり、また前回とは違う楽しさが生まれることに共感しました。秋もお友だちと交流したり、本人が楽しく感じてくれたら嬉しいです。」「つい遊具やおもちゃがないとおもしろくないのでは…と思いがちですが、何もないことを楽しめる力こそ想像力、創造力と思っています。自分のやりたいことを見つけられる力を作れる公園だなと思っていて、休みの日にもよく出かけます。行き帰りのいつも通る道の四季の景色の移り変わりを感じることも意識しないと忘れがちなことなので、変化に気付ける声かけも大切にしたいです。」「遊具がないところで遊ぶという経験を、お友だちとできるのが良いなと思いました。その楽しさなどをお友だちと共有することで、仲が深まったりできるのかなと思いました。」「春に行った園外保育を秋に改めて行くことで、子どもたちがどんなふうを感じるのか、帰ってきた時に感想を聞くのが楽しみです。」等の記述があり、本園が大切にしていることを理解していただけたことがわかる。今後もクラス懇談会を通じて、保育の理解を深めてもらえるよう努めていく。

（8）年少組 10 月クラス懇談会

運動月間について

【現状の説明】

本園では戸外遊びに適した10月を運動月間とし、積極的に体育遊びや集団遊びを取り入れている。園児は体を動かす心地よさを体感すると共に、友だちと一緒に力を合わせる経験をしたり、ルールを守って遊ぶ楽しさを味わえるようにしている。運動月間については、以下の幼稚園教育要領の5領域のねらいとの関連を意識して取り組んでいる。

- | | |
|--------|---|
| 「健康」 | <ul style="list-style-type: none">・ 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。・ 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。・ 先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。・ いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。・ 進んで戸外で遊ぶ。・ 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 |
| 「人間関係」 | <ul style="list-style-type: none">・ 身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。 |

- ・先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。
- ・自分で考え、自分で行動する。
- ・いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ。
- ・友達と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う。
- ・友達のよさに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。
- ・自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。
- ・友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。
- ・友達との関わりを深め、思いやりをもつ。
- ・友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気づき、守ろうとする。
- ・共同の遊具や用具を大切にし、皆で使う。

「言葉」

- ・先生や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみをもって聞いたり、話したりする。
- ・したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。
- ・したいこと、してほしいことを言葉で表現したり分からないことを尋ねたりする。

「表現」

- ・様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。

本園では、運動遊びの楽しさを感じられるように、学年の発達に合わせて取り組む種目を考え、子どもたちが無理なく楽しめるものや、少し頑張ることのできるものになっている。例えば、玉入れでは、年少組では玉を上に向かって投げることが難しいので、園庭に描いた白線の中に入れるようにしている。手首がうまく使えるようになった年中組からかごを使い、上に玉を投げる経験をしている。初めはなかなか入らず難しそうにしている姿もみられたが、何度か繰り返すことで楽しむ姿がある。年長児になるとかごへと投げて狙って入れることができるようになってきて、かごがいっぱいになるまで楽しむ姿がみられる。この年長児の姿を年少児、年中児が見て、年長児への憧れが生まれると考える。

年少組では、広い園庭で体操やかけっこ、玉入れ等、体を動かして遊ぶことが楽しいと思えることを大切にしている。年中組では大玉転がしをしたり、鬼ごっこ等の運動遊びで簡単なルールを守ったり、集団遊びを楽しむ中で友だちに目を向け仲間意識を育んでいけるようにしている。年長組では、個々の力を出し、繰り返すことで楽しさを深めていくことや、友だちと協力し力を合わせ仲間意識をさらに深めることを大事にしている。（健康・人間関係・言葉・表現）

10 月初旬から全学年が運動月間の中の 1 日を、コロナ禍の経験から 1 クラスずつ「お庭でのおたのしみ会」として保護者も一緒に体を動かし、1 クラスだからこそできる温かく楽しいひとときを過ごせるように、園児の成長を感じてもらえるようにと考え行っている。園

児にとって参観日は嬉しい特別な日であるが、この日のために練習を重ね発表の場とするのではなく、あくまでも普段の保育の延長線上にある一日に保護者が参加するという形で実施している。教員は普段の園児の遊びや興味のあるところに焦点を当てたプログラムを考え、園生活からかけ離れたものにならないように考慮している。(健康・人間関係・言葉・表現)

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると、『運動月間』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。』の設問に対して、「思った」が93.3%、「まあまあ思った」が3.3%であり、100%に近い保護者に理解していただけていることがわかる。また、『運動月間』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですでお書きください。』の設問に対しては、「年齢による発達をととても考慮された「お楽しみ会」だったなと感じました。楽しそうな表情やお友だちとの関わりも見れて嬉しかったです。」「子供達の成長に合わせて玉入れやかけっこ等、楽しくやれるようになっているのだなあと感動しました。お庭でのお楽しみ会は成長している姿、頑張っている姿にととても感動しました。」「子ども達が伸び伸びできるために、プログラムが考えられていることに感心した。(玉入れが円の中に入れるという発想がなく)円に入らなくても転がしたということで喜んでる姿が印象的でした。」等の記述があり、学年の発達に合わせて種目を考えていることを感じいただいていることがわかる。また、「普段の保育とかけはなれすぎず、身近なことをテーマにさせていただいたので終わってからもお家でうたをうたったり踊ったりしているのを毎日のようにみることができて、楽しませてもらっています。」「ふだんの園の生活の中で、子どもたちが好きな郵便屋さんや秋のおまつり(木の実あつめ)を取り入れたお楽しみ会はとてもよかったです。」「特に先日のお楽しみ会の中で、友だちと一緒にのびのびと体を動かしたり、先生の話聞き、一人ひとりがクラスの中で安心して動いている姿に年少らしく集団生活を送っているなと感じました。」「普段の園の生活の一部、延長線を見守ることができたので安心しましたし、子供にとっても負担にならないと思いました。また、季節感を大事に、子供たちに感じさせてもらえることにととても共感しています。」等の記述があり、お庭でのおたのしみ会を通して、本園が大事にしている子どもたちの遊びや、園児が興味のあることを中心に取り組む種目を考えていることについて、普段の園生活を感じ、共感していただけていることがわかった。今後も、園児が体を動かす楽しさを感じられることを大事にし運動月間に取り組んでいく。

(9) 年少組 11月クラス懇談会

園外保育(親子)について

【現状の説明】

年少児は、園生活に慣れ安心して過ごせるようになった秋に、親子で千里南公園へ出かけ

ている。遊び慣れた幼稚園ではなく園外に出かけるので、子どもたちが安全に安心して過ごせるように親子での遠足にしている。公園内で親子で散策をした後、お弁当を食べ、広場で遊んで過ごす。園外保育（親子）については、以下のような幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を意識して取り組んでいる。

- | | |
|--------|--|
| 「健康」 | <ul style="list-style-type: none">・ 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。・ 先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。・ 進んで戸外で遊ぶ。・ 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 |
| 「人間関係」 | <ul style="list-style-type: none">・ 身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感をもつ。・ 先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。・ 友達と積極的にかかわりながら喜びや悲しみを共感し合う。・ 友だちの良さに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。 |
| 「環境」 | <ul style="list-style-type: none">・ 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。・ 身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。・ 自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。・ 身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気づき、いたわったり、大切にしたりする。 |
| 「言葉」 | <ul style="list-style-type: none">・ 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。・ 人の言葉や話などを聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。・ 先生や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。・ したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。・ いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。 |
| 「表現」 | <ul style="list-style-type: none">・ 生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。・ いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。・ 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。・ 生活の中で美しいものや心を動かした出来事に触れ、イメージを豊かにする。・ 様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。 |

年少児にとって初めての遠足なので、園生活に十分慣れて安心して過ごせるようにな

った秋に親子で出かけるようにしている。(健康・人間関係・環境)

園外保育では、普段の保育の中で見立てて遊んだり、遊びを見つける力を大切にしているのと同じように、滑り台などの遊具で遊ぶのではなく親子で秋を感じたり見つけて遊ぶことを大切にしている。身近な自然物から目に留まったものを何かに見立てたり工夫して遊ぶことで子どもたちの想像力や創造力を引き出してくれると考えている。(健康・人間関係・環境)

遠足では、親子で一緒に体を動かして遊んだり、子どもと話をしながらお散歩して季節を感じながら色づいた落ち葉を集めたり、どんぐりや松ぼっくりなどを見つけたり、バッタ等の虫を見つけ、身近な自然への興味や関心が広がることを大切にしている。また、感じたことを自分の言葉で伝え、身近なお家の方と共有することで気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう経験になるものと考えている。(健康・人間関係・環境・言葉)

目や耳で秋の心地よい太陽の光や風の音を感じたり、暖かさを肌等五感を使い全身で感じる経験をし、散策ではあえて坂道やでこぼことした道を歩き、広場で走ったりと身体を動かし遊べるようにしている。(環境・表現)

年中組になってからも、春と秋に同じ千里南公園に園外保育へ行くが親子で楽しく過ごしたこの経験が、年中組になってから子どもたちだけでいく園外保育に繋がるようにと考えている。(健康・環境)

今回のクラス懇談会では、親子遠足で季節や自然を感じることや、遊具がない所で過ごすねらいや親子での会話を楽しんでもほしいことを伝えた。

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると「園外保育（親子）」を通して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。」の設問に対して、「思った」との回答が97.1%であった。また、『親子遠足』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」の設問に対しては、「自然と向き合う事をととても大切にし、親子の時間の大切さを教えていただける活動だと思いました。」「子どもがお友だちとやりとりしたり、いろんな発見をしているのを一緒に共有できて、とても貴重な体験でした。」「普段公園などに出かけても遊具や道具で遊ぶことが多いので、どんぐりを拾ったり、手を繋いで歩くという時間が貴重でした。」「普段の生活の中ではなかなか2人だけの時間が持てないので、子どもと向き合う良い機会になりました。自然の中でゆったりとした時間を過ごすことができ、嬉しかったです。」「母も子どもの頃に戻り、楽しませていただきました。お友だちと遊んでいる様子などが見られて、4月からの半年間での大きな成長を感じました。」「たくさん歩き、自然を感じながらゆっくり過ごせた時間は、とても有意義なものでした。ありがとうございました。先生方が子どもの発見と一緒に喜んでくださり、とても嬉しそうに報告しに行く姿が微笑ましかったです。」との感想をいただいた。

今後も、親子で身近な自然に触れ合い季節を感じる機会を持つことを意識し、家庭でも自

然や季節の変化に興味や関心を持ってもらえるように取り組んでいきたい。また、子どもたちには、普段から園内の散策を通して季節の移り変わりを感じられるように働きかけていく。

冬至に向けての取り組みについて

【現状の説明】

本園では、冬至に向けて園で収穫した銀杏を食べたりゆず茶を飲み、冬至について知り、興味をもてるように取り組んでいる。また、生活の中で太陽を意識できるようにしたり、戸外に出て冬の寒さや太陽の温かさを感じられるように考えている。冬至に向けての取組については、以下の幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を意識して取り組んでいる。

- | | |
|--------|---|
| 「健康」 | <ul style="list-style-type: none">・進んで戸外で遊ぶ。・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。・先生や友達と食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心をもつ。 |
| 「人間関係」 | <ul style="list-style-type: none">・先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。・友達と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う。 |
| 「環境」 | <ul style="list-style-type: none">・自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。・季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。 |
| 「言葉」 | <ul style="list-style-type: none">・先生や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。・したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。・いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。 |
| 「表現」 | <ul style="list-style-type: none">・いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。・生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。・生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。 |

本園では、12月から冬至に向けて過ごしていく。栄養豊富で保存がきく南瓜や銀杏などを食べて力をつけ冬至を乗り越え、病気になるのを防いでいたこと、柚子湯に入ること等の風習を子どもたちに伝え、日本の文化を知る機会にしたいと考えている。銀杏は、園庭のいちょうの木に毎年たくさんの銀杏が実り、実を落とす。四季によって変化していくいちょうの木の様子を子どもたちと散歩の時に見ながら、季節ごとの変化を感じられるようにしている。銀杏を収穫し、園庭で銀杏洗いを行う様子を園児が目にし、銀杏の香りや季節の手仕事をしている大人の姿を感じられることを大事にしている。しばらく天日干しし、その後、できた銀杏を園児が味見できるひとときをもっている。固い殻から出し、茶色い皮を剥くと、

黄色い実がでてくるのを知る。子どもたちは、銀杏が木になっているところから食するまでを知る機会となっている。(健康・人間関係・環境) 柚子は、温かい柚子茶にさせていただくことで身体の中から温まることを感じられるひとときをもっている。南瓜は、年長児が南瓜入りのクッキーを作り、全園児がおやつの日にいただく。(健康・人間関係・言葉) 他にも、幼稚園で実ったみかんをいただいた後、皮を天日干ししお湯に入れてみかん湯にし、冬の寒さで冷えた手を温める。また、園のカメが冬ごもりしていることや、木が葉を落としている様子も園内を散歩することで目にしていき、冬が訪れていることを子どもたちが五感で感じられるようにしていきたいと考えている。(健康・人間関係・環境・言葉・表現) 生活の中で太陽を意識できるようにし、太陽があたると暖かいこと、陰は寒いこと、冬の寒さの中で身体を動かして遊ぶことで、身体が温まる感覚を経験することも大事に考えている。(健康・人間関係)

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると、『冬至の取り組み』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。』の設問に対して、「思った」が97.1%、「まあまあ思った」が2.9%であり、100%に近い保護者に理解していただけていることがわかる。また、『冬至の取り組み』の話聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。』の設問に対しては、「昔の人の生活の知恵を子供達に伝えて下さるのは本当に素敵だなと感じています。家でも冬至に子供と一緒にゆず湯を飲んでみようと思いました。」「参考になり、親として家庭でも取り組みたいと思いました。ひとつひとつが子どもがいなければ何も考えずに口にしていた食物ですが冬至の話に絡めて子どもに響くよう関わりたいと思いました。」「大人になるとカレンダーを見て冬になったなと思うようになりましたが、本当は四季を感じて冬なんだなと感じることが大事なんだなと気付かされました。すてきな取り組みだと思います。」「季節の行事は、日本人として伝えていきたいですし、とても大切な事ですので、“イベント”として派手にするのではなく、静かに落ち着いた気持ちで過ごしてくれていて、とても良いなと思いました。」等の記述があり、冬至を知る機会をもつこと、季節を感じる大切さに共感していただいていることがわかった。また、家庭でも取り入れてみたいという声から、園で大事に考えていることを理解していただき、園と家庭、同じ気持ちで子どもと関わるができていることがわかる。今後も、季節の移り変わりをを感じる四季の行事を子どもたちに伝えるようにしていく。

(10) 年長 11 月クラス懇談会

お餅つきについて

【現状の説明】

近年、地域や家庭で行われることが少なくなっているお餅つきを、本園では12月に園庭で行っている。火を焚き、蒸籠で餅米を蒸し、石臼と杵で餅つきをする古くからの風習を園

児に知らせ、日頃味わえない貴重な経験だと考え取り組んでいる。お餅つきについては、以下のような幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を意識して取り組んでいる。

- | | |
|------|--|
| 「健康」 | ・ 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 |
| 「環境」 | ・ 生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ。
・ 季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。
・ 日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。 |
| 「言葉」 | ・ 先生や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。
・ いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。
・ 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう。 |
| 「表現」 | ・ 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。 |

当日、子どもたちは、薪が燃える香りや蒸籠から立ち上がる湯気の様子、もち米が蒸し上がった香りなどを感じながら、餅が出来上がっていく様子を楽しみに見て過ごす。年長児は子ども用の杵で実際にお餅つきを体験し、年少・年中児は年長児や大人が餅をつく様子を見て、お餅ができる過程を知り興味を持てるようにしている。また、年長児はつきたてのお餅の温かさや柔らかさを感じながら、自分たちでついたお餅を皆でいただくひとときを持っている。(健康・環境・言葉・表現)

教員は、子どもたちに蒸籠や杵、臼といった珍しい道具を伝えたり、昔からのお餅つきの様子を知らせたりしている。昔からお米は大切なものであり、お祝い事やめでたい日、お正月を迎えるためにお餅つきをしていたことを伝え、お餅つきに興味や関心が持てるようにしている。(健康・環境・言葉・表現)

また、前日のもち米洗いから、当日のかまどの準備、つき手、後片付けに至るまでたくさんの人の協力を得て行っていることを園児に伝え、感謝の気持ちを持てるように働きかけている。(環境・言葉・表現)

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると、『お餅つき』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。』の設問に対して、「思った」が100%であり、保護者に理解していただけたことがわかる。また、『おもちつき』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。』の設問に対しては「家ではなかなかできない貴重な体験なので、とても嬉しく思います。」「もち米からお餅に変化する様子をまじかで見たり、においなどを感じたり、五感を通して体験できることは本当にありがたいです。」「どうやってお餅ができているのか、体験させていただくことで、より一層食べ物への興味や、普段当たり前に食べていることへの感謝の心が豊かに育っていったら嬉

しいです。」等の記述があった。これらのアンケートから「お餅つき」について理解していただけたことがわかった。今後もこのような体験を通して、保育の理解を深めてもらえるよう努めていく。また、地域や家庭で行われることが少なくなっているお餅つきを、園で体験できることは園児にとって貴重な経験であると考え。園児や手伝ってもらう方には十分衛生面に配慮し、今後も実施する方向で考えていく。

(11) 年中1月クラス懇談会

豆まきについて

【現状の説明】

本園では昔から伝承されてきた日本の行事を大切にし、その一つとして節分の日に豆まきを行っている。節分は立春の前日を指しており、季節の変わり目は邪気が起こりやすいと考えられていたことから、一年の無病息災を願い邪気払いとして豆まきを行っている。豆まきについては、以下の幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を意識して取り組んでいる。

- | | |
|--------|---|
| 「健康」 | ・ 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
・ 自分の健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。 |
| 「人間関係」 | ・ 友だちと積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う。 |
| 「環境」 | ・ 季節により自然や人間の生活に変化があることに気付く。
・ 日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。 |
| 「言葉」 | ・ 先生や友だちの言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。
・ したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。
・ 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう。 |
| 「表現」 | ・ かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。 |

本園では、鬼が目の前に現れると自分の内から“病気や災難”を追い払う気持ちよりも、豆をぶつけて“鬼をやっつける”気持ちが強くなってしまうことから鬼は姿を現さないようにしている。節分当日には、担任から学年の子どもに合わせた伝え方で節分について知らせ、“病気や災難”が近寄りやすいと言われていることを伝えている。(健康・環境) 鬼を見せて園児をむやみに怖がらせたり、脅かしたくないと考えているが、鬼という存在を想像することで日常にはない計り知れない大きな力を感じたり、自分の心と向き合うことは大切だと考えている。(健康) 豆まきは各保育室から外に向かってまくようにしており、年長・年中児は子どもが行い、年少児は担任が代表して行っている。豆まきでは自分の内面と向き合い、自分の中の悪いものを外に出せるようにクラスで話をしている。(言

葉) 年長児はその後保育室で一年の健康を願い、歳の数に一つ加えた福豆をいただいている。年中組では、豆まきをした後に作って遊べる鬼の指人形を制作する。(表現)

節分では鬼は悪いものや怖いものの象徴とされる存在であるが、絵本や人形劇では一般的に知られている怖い鬼や意地悪な鬼だけでなく、臆病な鬼、心優しい鬼など色々な鬼と出会うことが出来る。子どもたちが絵本や人形劇の世界に入り込み、鬼の気持ちに共感したり心を動かされることを通して、自分の持っている感情に気付くきっかけになってほしいと思っている。(言葉)

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると、『豆まき』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。」の設問に対して、「思った」の回答が100%であり、参加した全ての保護者に理解していただけたことがわかる。また『豆まき』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」の設問に対しては、「自分の心にある邪気を退治するということを通して、自分の心を見つめ直すという話を聞いて、なるほどなと思いました。子どもも大人もそのような時間がもてたらいいなと思いました。」「豆まきといえば鬼がいて鬼をやっつける事がメインのようになってしまいそうですが、幼稚園では本来の節分や豆まきの意味を伝えて下さり、自宅ではそのようにできないと思うので、とてもよい機会と経験だと感じます。」「自分の心、感情と向き合うことは、普段の生活ではなかなかできないので、オニの存在をきっかけに自分のこころに向き合う促しをしていただけたことがありがたく思いました。そのような自分の内側を見つめる経験を、小さいころからお友達と一緒にできることは、心の成長にとっても貴重な経験だと思います。」「昔は今以上に健康に暮らすことがとても大切で、いろんなことをして体を大事にしていたこと、日本の行事には昔の人の知恵がつまっていることを伝えていきたいと思っています。親も自分の中にいる良くないことにゆっくり向き合う機会にしたいと思っています。」等の記述があり、本園が大切にしていることを理解していただけたことがわかる。鬼役を決め、鬼に豆を投げる豆まきが一般的ではあるが、今後も本来の豆まきの意味を子どもにも保護者にも伝え、理解を深めてもらえるよう努めていく。

(12) 年少組2月クラス懇談会

「ひなまつり」について

【現状の説明】

ひなまつりは、世間一般には女の子の節句とされているが、本園では子どもの健やかな成長を願う行事として行っている。ひなまつりについては、以下の幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を意識して取り組んでいる。

「健康」 ・ 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。

「人間関係」 ・ 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思ったことに気付く。

- ・ 友達のよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。
- ・ 先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。
- 「環境」
 - ・ 日常生活の中で我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。
 - ・ 季節によって自然や人間の生活に変化があることに気付く。
- 「言葉」
 - ・ 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。
 - ・ 人の言葉や話をよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。
 - ・ 先生や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみをもって聞いたり、話したりする。
 - ・ したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。
 - ・ したいこととしてほしいことを言葉で表現したり分からないことを尋ねたりする。
- 「表現」
 - ・ いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。
 - ・ 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。
 - ・ 生活の中で美しいものや心動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。
 - ・ かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。

ひなまつりでは、日本の伝統行事の一つとして由来や雛人形を飾る風習があることを伝え、園児が興味や関心を持てるようにしている。本園の七段飾りの雛人形は、約半世紀前に母の会（現はぐくみの会）から贈られたもので、毎年大切に飾っている。ひな祭りの集会は、ホールに学年ごとに集まり、雛人形の前で“うれしいひなまつり”の歌を歌ったり、大きくなった姿をお雛様に見てもらったりしながら、楽しいひとときを過ごす。（健康・人間関係・環境・言葉・表現）保育室内には桃の花などの春の花と、園児が作ったお雛様を飾る。

年少・年中組はホールのお雛様を見た後、保育室で自分のお雛様を制作する。年少組は、着物を折り紙で折りお雛様には冠と扇、お内裏様には鳥帽子と笄をそれぞれ糊で貼り付け作る。年中組は、子どもたちが冠や扇、鳥帽子、笄を自分の思う形に切って貼り、作る。年長組では、昔の人の生活を想像できるように働きかけ、草木や紙で作った人形（ひとがた）を海や川に流して自分の厄災を移す「流しびな」を理解できるように伝え、「流しびな」を制作する。制作したお雛様は、桃の花等の春の花と一緒に保育室に飾る。（健康・環境・言葉・表現）

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると『ひなまつり』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。」の設問に対して、「思った」との回答が100%であった。また、

『ひなまつり』の話聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」の設問に対しては、「子どもの成長を喜ぶ気持ちでひなまつりを行うことが素敵だと思った」「家庭ではなんとなく雛人形を飾って、ひなあられを食べてという感じになりがちですが、みんなで同じものを見て、それぞれ気付いたことを言葉にして、お友だちが気付ける環境が素敵だな、成長につながっていくなと感じました」「ひなまつりに限ったことではないですが、和の行事を大切に、文化を楽しみにする機会があり嬉しいです」「自分の雛人形を作ることで、よりひなまつりを身近に感じるのではないかと思います」などの記述回答があり、クラス懇談会の働きかけにより保護者に理解してもらえていることがわかった。今後もクラス懇談や便りを通して、行事のねらいを理解していただけるように努める。

(13) 年長組 2 月クラス懇談会

お店屋さんの取り組みについて

【現状の説明】

本園では、年長組がお店屋さんに取り組む。クラスで話し合い、お店のイメージを膨らませ、友だちと協力して取り組むことを大切にしている。お店屋さんの取組については、以下の幼稚園教育要領の 5 領域のねらいと内容との関連を意識して取り組んでいる。

- | | |
|--------|--|
| 「健康」 | ・先生や友達と触れ合い、安定感を持って行動する。
・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。
・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 |
| 「人間関係」 | ・身近な人と親しみ、関りを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。
・友達のよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。
・友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。 |
| 「環境」 | ・生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ。 |
| 「言葉」 | ・先生や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみを持って聞いたり、話したりする。
・いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。
・したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。 |
| 「表現」 | ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
・様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。
・かいたり、作ったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。 |

年長組ではお店屋さんごっこの取組を11月下旬に、年長児の保護者を招くという形で参観を行っている。参観日の後には、年少児や年中児を誘ったり、あるいは年長児同士が互いのお店でごっこ遊びを楽しんだりしている。(健康・人間関係・言葉)

昨年(年中児の時)お店屋さん誘われて遊んだことをよく覚えていて、子どもたちが遊んで楽しかったという経験をもとに、イメージを膨らませお店を考えている。その際には、一人ひとりの意見を大事にし、アイデアや工夫をクラスで共有できるように働きかけている。取り組む過程においては、子どもたちが主体的にアイデアを出し、イメージ豊かに工夫して品物作りができるようにし、それぞれのお店での役割を相談する等、意欲的に取り組めるように働きかけている。(健康・人間関係・環境・言葉・表現)

年少児や年中児を招いた時は、店主としての仕事はもとより、年長児として小さい子が楽しめるようにお世話をする優しい姿が見られた。(人間関係・言葉・表現)

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると『『お店屋さんの取り組み』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。』という設問に対して「思った」が93.9%、「まあまあ思った」が6.1%であり、100%に近い保護者に理解いただいていることが分かる。また『『お店屋さんの取り組み』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。』という設問に対しては、「子ども達が意欲的に取り組んでいる姿が印象的だった。自発的な遊びの中での学びの大きさを感じた。」「子どもが自分で考えて行動したり、他の子と考えを共有できるようになっている事に感心した。」「友だちと一緒に、何かを作り上げる喜びや楽しさを感じていたと思う。」「どんな風にしたら来てくれる人が喜んでくれるかな?楽しんでもらうにはどう工夫したらいいかな?という話を子どもから聞きました。お店を開く側として相手の気持ちを考えているのだなと感じました。」等の記述があった。これらのアンケートからお店屋さんの取組に参加し、子どもとのやり取りや遊びを通して、子どもの世界を身近に感じてもらえたと思う。今後も品物の出来栄ではなく、店主として活動する子どもの姿を感じてもらえるようにクラス懇談会で働きかけ、保護者が幼児期の子どもへの理解を深めてもらえるように努める。

(14) 年中3月クラス懇談会

お別れ会について

【現状の説明】

お別れ会は、年長児と年中児で行っている。年長児のお別れ会での姿は、これまでの集大成である。大きくなったらできることを伝える年長児の姿を見て、年中児は1つ大きくなることへの憧れの気持ちを膨らませる姿がある。そして、年中児はこれまでの感謝の気持ちを年長児に伝え、年長児は卒園して小学生になる期待を感じれるような時間になっている。本園でのお別れ会に関する活動は、以下の5領域のねらいと内容との関連を意識して取り組ん

でいる。

「健康」

- ・ 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
- ・ 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。

「人間関係」

- ・ 幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。
- ・ 身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感をもつ。
- ・ 先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。
- ・ 自分で考え、自分で行動する。
- ・ 自分でできることは自分でする。
- ・ 友達と積極的にかかわりながら喜びや悲しみを共感し合う。
- ・ いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ。
- ・ 友達のよさに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。
- ・ 友達と楽しく活動する中で共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。
- ・ 友達とのかかわりを深め、思いやりをもつ。

「言葉」

- ・ 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。
- ・ 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。
- ・ 先生や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。
- ・ したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。

「表現」

- ・ 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。
- ・ 感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり自由にかいたり、つくったりなどする。

お別れ会は、卒園式の前日にホールで行っている。年中児が先に着席して年長児の入場を拍手で迎え、お別れ会が始まる。年中児は数日前から、これまで年長児にお世話になったことを思い出し、感謝やお祝いの気持ちを年長児に伝えられるようクラスで話し合い、当日は歌や呼びかけで年長児に伝えている。呼びかけの言葉は、これまでを振り返って事柄だけを並べるだけでなくその時の気持ちに働きかけ、自分たちで呼びかけの言葉を考えしっかりと伝えるよう指導している。教員は、年中児が年長児の姿に目を向けて憧れや感謝の気持ちが持てるような働きかけを日々の保育の中で行うことが大切である。そのため、全教員で子どもに対する共通理解を深め、保育を進めていく。一方、年長児は年中児に見せたい、伝えたいと思う年長児ならではの遊びや歌等をそれぞれに考え、披露している。会の終わりには、年中児が手作りのペンダントを年長児にプレゼントし、年長児は、拍手で見送られながら退場する。

年中児の前で披露する年長児の姿は、卒園を前にした自信と喜びが感じられる。それは、普段の園生活の積み重ねから培われたものであるため、教員は一日一日の保育を大切に考え、園児に向き合っていかなければならない。年長児の自信に満ちたその姿を、年中児は大きくなることへの憧れを持って見ており、自身が一つ大きくなることを楽しみにしている。年中児は年長児への感謝やお礼の気持ちを伝えることで卒園を祝う気持ちに繋げている。

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると「『お別れ会』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。」という設問に対し、「思った」との回答が97.7%、「まあまあ思った」との回答が2.3%であった。また、「『お別れ会』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し、「年長さんが卒園するということと、自分たちが次は“大きい組さん”になるんだという実感がわくのではと思いました。子どもが寂しさや何か感じてくれると嬉しいです。」「形式ばった“お別れ会”ではなく、年長さんのことをそれぞれで想い、言葉にしていって作業を丁寧に寄り添ってくださる様子が目に浮かびました。」「今まで遊んでもらったり、助けてもらった大きい組さんに対し、感謝の思いを伝えるために、事前にみんなで話し合う時間をもつということがとてもいい経験になるなあとと思いました。卒園児を送り出すこと、これから役割を引き継ぐこと、そういった時間をしっかり取っていただけることが素敵だなあとと思います。」という記述回答があった。これらのアンケートから本園が大切にしていることを理解していただけたことがわかった。今後も園で取り組んでいる行事への思いやねらいを保護者に伝え、理解を深めることに努め、年少・年中・年長の繋がりを感じてもらえるように働きかける。

5 学校関係者評価委員会からの評価結果

〈自己点検・評価の適切性〉

関西大学幼稚園では、2009年度から毎年自己点検・評価を行ってきた。

2020年度からは、本園の教育内容と幼稚園教育要領の5領域との関連に焦点を当て、4年かけて一巡するという方法を取り始めたが、コロナ禍でクラス懇談会や教育内容において実施できていない部分もあるため、5年で一巡することになった。本年はその4年目である。これまでの自己点検・評価ではいずれの年度も保護者から非常に高い評価を得てきている。

本年度は5月8日から新型コロナウイルス感染症が感染症法2類になったため、コロナ禍前の保育に戻っていったが、行事や取組はコロナ禍の経験を生かし、クラス単位や学年単位で行っている。このように、これまでの日常が大きく変化し、登園もままならなかったコロナ禍の状況は園にとっても教職員にとっても未曾有の厳しい状況であったが、その間、保護者の不安や子どもたちの恐怖心をきちんと受け止め、その時々で最善と思われる保育を行い、実践してきたことを検証し、今年度の保育の形を作り上げてきた。現在ある本園の教育はコロナ禍前のものでもあり、コロナ禍に直面した日々のものでもあるが、コロナ禍の影

響が何もなかったかのようにかつての教育を踏襲したものではない。そこには教職員の並々ならぬ努力と工夫が随所にみられ、これまでの委員会で何度も確認された、本質は変えずに形を変えて行っていくという本園の教育に対する精神がそここにみられる。

幼稚園教育要領は教育課程の基準を決めたものであるが、日常の教育について保護者が一つひとつそれを照らし合わせながら子どもの成長を確認する機会はありません。

しかし、本園では5領域の内容について事前に手紙で周知した後に、クラス懇談会で幼稚園教育要領5領域と園の教育内容の関連を直接伝えるとともに、たとえば七夕の笹飾りの貝殻作りを体験してもらうなど、教育内容を保護者と共有することで園の教育に関する保護者の理解が深まっており、今年度の自己点検・評価は適切に行われている。

〈重点的な取り組みの適切性〉

本年度の自己点検・評価に関して、年少組は入園式、お月見、運動月間、園外保育、冬至に向けての取り組み、ひな祭りを重点的な評価内容とした。年中組は健康診断、七夕、園外保育、豆まき、お別れ会についてであった。また、年長組は進級式、5月の節句、夏の夜の集い、お餅つき、お店屋さんの取り組みであった。これらについて、それぞれ、幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を意識して教員は取り組んできた。

まず、年少組の入園式については、全体で行うのではなく、子どもたちが初めての環境で安心して過ごせるように、クラスごとに親子で行っている。子どもも保護者も初めての体験であり緊張もするが、子どもたちは担任から名札をつけてもらい、自身がこの組の一員になったことを実感し始めるであろう。年少児の中には人見知りが続いている子もあるが、どの子に対しても優しく語りかけ受けて入れてくれる担任は、見知らぬ怖いおとなではなく、優しく大切な人になる。また、年長児から贈られたうさぎのペンダントはおとなだけでなく子どもからも仲良くしてもらえろという経験の第一歩となる。これら最初の出会いは、後の幼稚園生活の中で子どもが安心して過ごせる場所となるかどうかを左右するほど大事な経験となる。保護者の97.3%が5領域との関連を感じている。

年中組の健康診断は年少組の時の保護者同伴とは異なり、初めて子どもだけで受診することになる。健康診断は病気を見つける検診ではなく、健康を確認する機会として位置づけられているが、それだけではなく、報告書にあるように一年間を通して子どもたちが自身のからだや健康について意識できるようにしたいという意図をもって行われている。100%近い保護者が5領域との関連を理解していた。園では健康と関連の深い食事、睡眠、運動、手洗い、うがい、歯磨き等について日常的にその大切さを伝えるとともに、子ども自らが健康がいかに大切であるか、健康を守るためには日々の生活の中で何をどのようにすればよいかを理解できるよう、お話や絵本や紙芝居も活用しながら子どもたちに伝えている。これらのことにより、アンケートの設問への回答にもあったように、「普段の生活の中から健康の大切さを子どもに伝えてくださっているのはありがたい」という保護者の感想が聞かれる

のである。

年長組の進級式については保育室で新しい担任に一人ひとり名札をつけてもらい、新しいクラスの子どもたちとあいさつをしてから、年中の子どもたちもともに式に臨む。この日は入園式の前日にあたり、新入園の子どもたちに贈る手作りペンダントを渡す役割を伝えられ、年長児にとっては責任と誇らしさが感じられる時である。アンケートでは進級式が5領域と関連していると思った保護者は93.5%、まあまあ思ったが4.3%であり、無回答が2.2%であった。他の質問項目と比べると「思った」という回答率がやや低いようにも見えるが、自由記述には、「一つ学年が上がった喜びをお友達や先生方と共有し、分かち合う時間を作っていただいていることが大変嬉しい。」「あたたかい気持ちに包まれて進級式が行われていることを知り、とても嬉しい。」「新しい環境になり、落ち着かない中、進級の日を穏やかに過ごせていることが素敵」といった回答が寄せられており、子どもの成長を喜ぶ保護者の進級式への感謝の気持ちがよく表れている。

本年度の重点的な取り組みについては、年少・年中・年長で取り上げた上述の項目以外にも、ほとんどの項目について5領域と関連があると答えた保護者が97%から100%であった。折々の行事は日常の教育活動の一つであるが、それぞれの行事の由来や込められている意味や教員の思いを子どもたちに伝えることで、行事を一つの出来事として終えるのではなく、他児と一緒に時間や場所を共有しながら行い、子どもが自ら考え行動する様々な経験が、小学校就学以降の集団の中での生活に大きな力となるように考えられていることがよくわかる。保護者もその点を理解し、高い評価をしていることから、本年度の重点的取り組みは適切に行われているといえる。

〈自己点検の結果を踏まえた改善方策の適切性〉

上述のように、本年度のアンケートでは幼稚園教育要領と5領域の関連の理解について調査し、保護者から非常に高い評価を得た。しかし、教員は数値に表われた結果を受け入れる一方で、なぜそのような結果になったのかを考え、今後どのような方法でそれぞれの項目について保護者の理解を深めることができるかを検討しており、自己点検の結果を踏まえた改善方策は適切に行われている。

教員は子どもたちの発達を見守りながら、一人ひとりにあったより良い保育を模索しており、小さなことの丁寧な積み重ねこそが子どもたちの育ちにより深く関わっていることを強く感じた。

近年、AIが話題になることが多くなってきた。これまで人間にしかできないと考えられてきた知的な判断や推論のほとんどをAIが行う時代がやってこうとしている。しかし、AIが人間を超えるかどうかはそこに感情を宿せるかどうかだともいわれており、感情を味わう教育こそが楽しさや喜びのある人らしい生き方になると考えられる。解だけを求める教育ではなく、解に至るまでのプロセスに喜怒哀楽があり、それを皆で味わうことの大切さを本委員会は改めて確認した。幼稚園教育要領の5領域は幼稚園教育の基本的な部分を示

している。それが子どもたちの成長にどのようなにつながっていくかを、懇談会で教員の説明を聞き、日々変化していく子どもたちの言動を見聞きする中で、目の前で起こる様々な出来事に対して幼稚園での経験を活かして応用して行動することができるようになった子どもの様子を見るたびに、親としての迷いや不安がなくなっていく。本園の教育は、焦らなくても大丈夫、子どもたちを見ているとそう思えるという園と保護者との間に構築されていく信頼関係、教員と子どもとの間の安心できる関係が基礎となって成り立っている。

6 「学校評価（自己点検・評価）報告書」に対する園長の意見書

関西大学幼稚園

園長 藤川 友香

本園の学校評価は、2020 年度より「関西大学幼稚園教育課程」における教育内容と幼稚園教育要領の5領域との関連に焦点を当て、点検・評価しており、今年は4年目である。本来は在園期間の3年で全教育内容の点検・評価を行うことが最善だと考えるが、コロナ禍に制限があり行えなかった教育内容があること、全教育内容を3年で実施することを考慮すると少人数の教員で行うには負担が大きく、5年で終えることにした。幼稚園教育要領の5領域については、事前に手紙で周知し、クラス懇談会で本園の教育内容を5領域に関連づけて伝え、理解していただけるように働きかけた。

幼児教育は、家庭との連携が不可欠である。そこで、本園の考えや幼児教育への理解を深めていただける機会として、保護者に直接働きかけることのできるクラス懇談会は大きな役割を果たしている。クラス懇談会で子どもの様子を交えながら教育内容を5領域との関連も含めて伝えることで、幼稚園教育要領との繋がりをより理解していただけた。

また、保護者にはクラス懇談会後にアンケートに回答していただいた。アンケートの初回に今後の改善のために協力していただきたい旨を伝えているが、B回答の方の理由の記述がなかった。その点については、アンケートに協力していただく意味をアンケート前に毎回伝え、アンケートからより良い改善が図れるようにしたいと考える。記述回答には丁寧に答えていただき感謝の思いである。記述回答を通して、教員の話聞いて保護者が感じたことや思ったことを知ることができた。我が子に関することについても、1学期は新しい環境でのスタートで学年に関わらずさまざまな悩みや不安な思いの記述があり、個別に教員は回答し、保護者と子どものことを考える機会となった。2学期、3学期になるにつれ、年長組は「子どもたちが楽しく園に通っている」や「安心している」との嬉しい記述が多かった。年少・年中組も1学期よりは悩みや心配事の記述は減ったが、時期が変わり、また違う悩みや不安がでてきたこともわかった。

今年度は5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが変わり、コロナ禍前の保育に戻っていった。ただ、コロナ禍の3年、保護者間の繋がりや人間関係が希薄になり、子育てについて話ができる場も少ない中、子育ての悩みを解決するためにネットで検索することが身近になっていると感じる。簡単に調べられるだけに、今の我が子の姿に当て

はまることを見つけ、その対処法にすがってしまう気持ちは理解できる。ただ、それは一時的な解決にはなるかもしれないが、子どもの育ちを考えたときに根本的な解決にはならないと考える。そこで、幼稚園の存在は大きく、保護者の悩みや不安な気持ちに寄り添い、保護者自身が子どもの育ちを知り、気持ちを理解することができるよう、今日の前の子どもに大切なことを一緒に考えていきたい。

幼児教育は、内面を豊かに育てる時期である。内面の育ちは目には見えにくく、すぐに成果がわかるものではない。人間の土台になる重要な教育が幼児教育である。この大事な幼児期の教育を責任を持って教職員一同、今後も懸命に邁進していく所存である。

7 アンケート結果

2023 年度学校評価についてのアンケート項目一覧・実施対象者別アンケート結果比較一覧表（関西大学幼稚園）

2023 年度 関西大学幼稚園 教員対象 学校評価に関するアンケート（用紙）

2023 年度 関西大学幼稚園 保護者対象 学校評価に関するアンケート（用紙）

以 上

2023年度学校評価についてのアンケート項目一覧・実施対象者別アンケート結果比較一覧表(関西大学幼稚園)

保護者アンケート		A	B	C	D	無記入	教員アンケート		A	B	C	D	無記入
「入園式」に関して、幼稚園教育要領の５領域と関連していると思いましたか。	全体	94.6%	2.7%	0.0%	0.0%	2.7%	「入園式」では、親子が安心して過ごせるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「入園式」に関して、幼稚園教育要領の５領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「健康診断」に関して、幼稚園教育要領の５領域と関連していると思いましたか。	全体	97.6%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	「健康診断」では、子どもが自分の身体に興味を持てるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「健康診断」に関して、幼稚園教育要領の５領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「進級式」に関して、幼稚園教育要領の５領域と関連していると思いましたか。	全体	93.5%	4.3%	0.0%	0.0%	2.2%	「進級式」では、進級した喜びを感じられるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「進級式」に関して、幼稚園教育要領の５領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「５月の節句」に関して、幼稚園教育要領の５領域と関連していると思いましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「５月の節句」では、由来をわかりやすく伝え、興味をもって取り組めるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「５月の節句」に関して、幼稚園教育要領の５領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「七夕」に関して、幼稚園教育要領の５領域と関連していると思いましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「七夕」では、由来をわかりやすく伝え、興味をもって取り組めるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「七夕」に関して、幼稚園教育要領の５領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「夏の夜のつどい」に関して、幼稚園教育要領の５領域と関連していると思いましたか。	全体	97.9%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	「夏の夜のつどい」では、夕方から夜にかけて日が暮れるのを感じながら子どもたちが楽しめるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「夏の夜のつどい」に関して、幼稚園教育要領の５領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「お月見」に関して、幼稚園教育要領の５領域と関連していると思いましたか。	全体	97.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	「お月見」に関して、由来をわかりやすく伝え、月に興味を持てるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「お月見」に関して、幼稚園教育要領の５領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「運動月間」を通して、幼稚園教育要領の５領域と関連していると思いましたか。	全体	93.3%	3.3%	0.0%	0.0%	3.3%	「運動月間」では、運動遊びを通してクラスの繋がりを深められるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「運動月間」に関して、幼稚園教育要領の５領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

保護者アンケート		A	B	C	D	無記入	教員アンケート		A	B	C	D	無記入
「園外保育」を通して、幼稚園教育要領の５領域と関連していると思いましたか。	全体	97.8%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	「園外保育」では、季節を感じ、自然を身近に感じられるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「園外保育」に関して、幼稚園教育要領の５領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「園外保育（親子）」を通して、幼稚園教育要領の５領域と関連していると思いましたか。	全体	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	「園外保育（親子）」では、親子で季節を感じられるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「園外保育（親子）」に関して、幼稚園教育要領の５領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「冬至に向けての取り組み」を通して、幼稚園教育要領の５領域と関連していると思いましたか。	全体	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	「冬至に向けての取り組み」では、冬至についてわかりやすく伝え、太陽への感謝の気持ちや寒さを体感できるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「冬至に向けての取り組み」に関して、幼稚園教育要領の５領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「お餅つき」を通して、幼稚園教育要領の５領域と関連していると思いましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「お餅つき」では、昔ながらの風習を知り、お餅ができる過程を興味や関心がもてるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「お餅つき」に関して、幼稚園教育要領の５領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「節分」を通して、幼稚園教育要領の５領域と関連していると思いましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「節分」では、由来をわかりやすく伝え、興味を持てるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「節分」に関して、幼稚園教育要領の５領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「お店屋さんごっこ」を通して、幼稚園教育要領の５領域と関連していると思いましたか。	全体	93.9%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	「お店屋さんの取り組み」では、子どもたちと一緒に考え、自主的に取り組めるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「お店屋さんの取り組み」に関して、幼稚園教育要領の５領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「ひなまつり」を通して、幼稚園教育要領の５領域と関連していると思いましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「ひなまつり」では、由来をわかりやすく伝え、興味を持てるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「ひなまつり」に関して、幼稚園教育要領の５領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「お別れ会」を通して、幼稚園教育要領の５領域と関連していると思いましたか。	全体	97.7%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	「お別れ会」では、年長児は自信をもって取り組み、年中・年少児は年長児への思いをクラスで共有し１つ大きくなることを楽しみにできるように働きかけますか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「お別れ会」に関して、幼稚園教育要領の５領域との関連を意識して取り組みますか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

教員アンケート

1. 「入園式」では、親子が安心して過ごせるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

2. 「入園式」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった
- D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

3. 「健康診断」では、子どもが自分の身体に興味を持てるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

4. 「健康診断」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった
- D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

5. 「進級式」では、進級した喜びを感じられるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

6. 「進級式」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった

D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

7. 「5月の節句」では、由来をわかりやすく伝え、興味をもって取り組めるように働きかけましたか。

A 働きかけた

B やや働きかけた

C あまり働きかけなかった

D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

8. 「5月の節句」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができたか。

A 意識して取り組むことができた

B やや意識して取り組むことができた

C あまり意識して取り組むことができなかった

D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

9. 「七夕」では、由来をわかりやすく伝え、興味をもって取り組めるように働きかけましたか。

A 働きかけた

B やや働きかけた

C あまり働きかけなかった

D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

10. 「七夕」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができたか。

A 意識して取り組むことができた

B やや意識して取り組むことができた

C あまり意識して取り組むことができなかった

D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

11. 「夏の夜のつどい」では、夕方から夜にかけて日が暮れるのを感じながら子どもたちが楽しめるように働きかけましたか。

A 働きかけた

B まあまあ働きかけた

C あまり働きかけていない

D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由を書いてください。

()
1 2. 「夏の夜のつどい」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた
 - B やや意識して取り組むことができた
 - C あまり意識して取り組むことができなかった
 - D 意識して取り組むことができなかった
- B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()
1 3. 「お月見」に関して、由来をわかりやすく伝え、月に興味が持てるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
 - B やや働きかけた
 - C あまり働きかけなかった
 - D 働きかけなかった
- B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()
1 4. 「お月見」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた
 - B やや意識して取り組むことができた
 - C あまり意識して取り組むことができなかった
 - D 意識して取り組むことができなかった
- B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()
1 5. 「運動月間」では、運動遊びを通してクラスの繋がりを深められるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
 - B やや働きかけた
 - C あまり働きかけなかった
 - D 働きかけなかった
- B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()
1 6. 「運動月間」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた
 - B やや意識して取り組むことができた
 - C あまり意識して取り組むことができなかった
 - D 意識して取り組むことができなかった
- B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()
1 7. 「園外保育」では、季節を感じ、自然を身近に感じられるように働きかけましたか。

- A 働きかけた

- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

1 8. 「園外保育」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった
- D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

1 9. 「園外保育（親子）」では、親子で季節を感じられるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

2 0. 「園外保育（親子）」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった
- D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

2 1. 「冬至に向けての取り組み」では、冬至についてわかりやすく伝え、太陽への感謝の気持ちや寒さを体感できるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

2 2. 「冬至に向けての取り組み」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった
- D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

23. 「お餅つき」では、昔ながらの風習を知り、お餅ができる過程に興味や関心をもてるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

24. 「お餅つき」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった
- D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

25. 「節分」では、由来をわかりやすく伝え、興味を持てるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

26. 「節分」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった
- D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

27. 「お店屋さんの取り組み」では、子どもたちと一緒に考え、自主的に取り組めるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

28. 「お店屋さんの取り組み」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた

- B やや意識して取り組むことができた
 - C あまり意識して取り組むことができなかった
 - D 意識して取り組むことができなかった
- B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

29. 「ひなまつり」では、由来をわかりやすく伝え、興味を持てるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
 - B やや働きかけた
 - C あまり働きかけなかった
 - D 働きかけなかった
- B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

30. 「ひなまつり」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた
 - B やや意識して取り組むことができた
 - C あまり意識して取り組むことができなかった
 - D 意識して取り組むことができなかった
- B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

31. 「お別れ会」では、年長児は自信をもって取り組み、年中・年少児は年長児への思いをクラスで共有し1つ大きくなることを楽しみにできるように働きかけますか。

- A 働きかける
 - B やや働きかける
 - C あまり働きかけない
 - D 働きかけない
- B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

32. 「お別れ会」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組みますか。

- A 意識して取り組む
 - B やや意識して取り組む
 - C あまり意識して取り組めない
 - D 意識して取り組めない
- B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「入園式」についてお伝えしました。

1. 「入園式」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いましたが。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

()

2. 「入園式」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「お月見」についてお伝えしました。

1. 「お月見」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いましたか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

()

2. 「お月見」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「運動月間」についてお伝えしました。

1. 「運動月間」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いましたか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(_____)

2. 「運動月間」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「園外保育（親子）」と「冬至に向けての取り組み」についてお伝えしました。

1. 「園外保育（親子）」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いませんか。

（1 つ選んでください）

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

()

2. 「園外保育（親子）」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構です
のでお書きください。

3. 「冬至に向けての取り組み」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いませんか。

（1 つ選んでください）

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

()

4. 「冬至に向けての取り組み」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構
ですのでお書きください。

5. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「ひなまつり」についてお伝えしました。

1. 「ひなまつり」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いましたか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(_____)

2. 「ひなまつり」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「健康診断」についてお伝えしました。

1. 「健康診断」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いましたか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(_____)

2. 「健康診断」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「七夕」についてお伝えしました。

1. 「七夕」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いませんか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(_____)

2. 「七夕」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「園外保育」についてお伝えしました。

1. 「園外保育」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いましたか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(_____)

2. 「園外保育」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「節分」についてお伝えしました。

1. 「節分」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いませんか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(_____)

2. 「節分」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「お別れ会」についてお伝えしました。

1. 「お別れ会」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いましたか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

()

2. 「お別れ会」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「進級式」「5月の節句」についてお伝えしました。

1. 「進級式」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。

(1つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

2. 「進級式」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. 「5月の節句」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。

(1つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

4. 「5月の節句」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

5. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「夏の夜のつどい」についてお伝えしました。

1. 「夏の夜のつどい」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いましたか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

()

2. 「夏の夜のつどい」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「お餅つき」についてお伝えしました。

1. 「お餅つき」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いましたか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(_____)

2. 「お餅つき」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「お店屋さんの取り組み」についてお伝えしました。

1. 「お店屋さんの取り組み」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いませんか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(_____)

2. 「お店屋さんの取り組み」の話を聞いたり、参観して思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。
